

問1	18世紀後半、田沼意次が商業を重視した政治を行って賄賂が横行したことを受け、その後に松平定信が徳川吉宗の政治を理想として行った、質素倹約を基本とする改革は何ですか。 （2024年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 宝暦の改革	2. 享保の改革	3. 寛政の改革	4. 天保の改革
問2	田沼意次が、商人の同業者組織である「株仲間」を奨励した主な目的として、最も適切な背景を説明しているものはどれですか。 （2014年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 農村での一揆を防ぐため、商人の資金を使って農地開発を全国規模で進めようとしたため。	2. 貨幣経済が浸透する中で、商業活動から得られる利益に課税し、幕府の財政難を解消するため。	3. 長崎での貿易を縮小させ、国内産の商品だけで経済が完結するように商人を統制するため。	4. 武士が商売を行うことを許可し、武士自らが利益を上げて生活を安定させる仕組みを作るため。
問3	室町時代から江戸時代にかけての日本絵画の変遷について述べた文として、正しいものはどれですか。 （2025年 東京都公立入試 類似）			
	1. 江戸時代前期には、喜多川歌麿によって「見返り美人図」などの浮世絵が描かれ始めた。	2. 安土桃山時代には、菱川師宣が南蛮人の来航の様子を描いた南蛮屏風を数多く制作した。	3. 室町時代に雪舟が中国の技法を学び、日本独自の水墨画を大成させた。	4. 江戸時代後期になると、狩野内膳が多色刷りの版画である「錦絵」の手法を確立した。
問4	江戸時代の大阪において、諸大名が自領の年貢米や特産物を運び込み、保管や販売を行うために設置した拠点は何といいますか。当時の風景を描いた資料には、これらが川沿いに軒を連ね、荷物を積み下ろしする船で賑わう様子が記録されています。 （2019年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 問屋	2. 蔵屋敷	3. 藩校	4. 両替商
問5	江戸幕府が諸大名に対し、1年おきに領地と江戸を往復することを義務づけ、江戸時代の街道において石畳の道が整備されるなどの影響を与えた制度は何といいますか。 （2018年 大分県公立入試 類似）			
	1. 武家諸法度	2. 参勤交代	3. 寄合衆	4. 天下普請
問6	井原西鶴の作品が、当時の人々に広く受け入れられた背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 （2021年 三重県公立入試 類似）			
	1. 飢饉によって農村が困窮し、都市への人口流入によって読者層が急増したため。	2. 鎖国が緩和され、海外の新しい小説技法が日本に大量に流入したため。	3. 貨幣経済の浸透により力をつけた町人たちが、自分たちの実生活に近い娯楽を求めたため。	4. 幕府が儒教を推奨したことで、武士の倫理観を批判する文学が許可されたため。
問7	江戸幕府の三代将軍である徳川家光が武家諸法度を改定して確立した、全国の大名に江戸と自分の領地を一年おきに往復させ、さらに妻子を江戸に人質として住まわせることを義務づけた制度の名称を答えなさい。 （2022年 新潟県公立入試 類似）			
	1. 禁中並公家諸法度	2. 参勤交代	3. 知行制	4. 朱印船貿易
問8	三代将軍徳川家光によって制度化された「参勤交代」は、幕府が諸大名を統制する上で大きな効果を発揮しました。この制度が大名の反乱を防ぐために果たした役割について、その仕組みと経済的な背景を説明したものとして最も適切なものはどれか。 （2022年 新潟県公立入試 類似）			
	1. 大名の妻子を江戸に住まわせることで、大名が海外の勢力と結びついて密貿易を行うことを防いだ。	2. 大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させることで、幕府に反抗するための軍備を整える経済的余裕を奪った。	3. 大名が一年ごとに領地を離れることで、現地の武士や農民との結びつきを強めさせ、幕府への忠誠を誓わせた。	4. 大名が領地の特産品を江戸で販売することを義務づけ、その利益を幕府が徴収することで財政基盤を強化した。
問9	江戸時代後期の産業の様子を記した資料において、大きな建物の中に多数の労働者が集まり、役割を分担して織物を織る様子が説明されていることがあります。このような生産体制が、それ以前の「自宅で作業する形式」と比較して優れていた点はどこにありますか。 （2022年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 海外から導入した蒸気機関や大型機械を使い、無人で製品を作れた点	2. 一箇所に人を集めて作業工程を細分化することで、大量生産が可能になった点	3. 農家が農作業の合間に自分の家で作業を行うため、人件費が安く済んだ点	4. 領主が直接労働者を管理することで、年貢として納める布の質を均一にした点
問10	江戸時代における農業生産力の向上について述べた文として、当時の背景や因果関係を正しく説明しているものはどれですか。 （2024年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 幕府による検地の実施をきっかけに、農民が自らの土地を自由に売買できるようになったことで、耕地が拡大した。	2. 諸藩が参勤交代の費用を捻出するために農作物を専売制にした結果、農民の改良は進まず、耕地面積は減少した。	3. 千歯こきなどの農具の改良や、新田開発による耕地面積の倍増によって、人口の増加を支える食料生産が可能になった。	4. 地租改正によって税率が一定になったため、農民が積極的に最新の海外製農機具を導入し、大規模農業が始まった。
問11	江戸時代後期、伊能忠敬が17年の歳月をかけて全国を歩き、実測によって作成した『大日本沿海輿地全図』について、幕府がこの事業を強力に支援した最大の理由としてふさわしい説明を選んでください。 （2023年 高知県公立入試 類似）			
	1. 全国の諸藩の石高を正確に測り直し、幕府の直轄地を大幅に増やすための検地を行う目的があったため。	2. 日米和親条約の締結に際して、開港する函館や兵庫の周辺地形をアメリカ側に示す必要があったため。	3. ロシアなどの外国船が日本近海に現れ始めたため、国防の観点から正確な海岸線の把握が必要になったため。	4. 長崎の出島を通じてオランダへ輸出する有力な商品として、日本の正確な地図が求められたため。
問12	十八世紀のイギリスで始まった、生産様式の劇的な変化について説明した文章として正しいものはどれですか。この変化は、それまでの手作業を中心とした生産体制を根本から変えたものです。 （2024年 福井県公立入試 類似）			
	1. 封建的な土地制度を廃止し、自作農を育成することで農業生産力を向上させた。	2. 絶対王政の支配を打ち破り、市民が政治の主権を握る社会へと移行した。	3. 工場制手工業から工場制機械工業へと生産様式が移行し、大量生産が可能になった。	4. 領主の指導のもとで農民が共同体を作り、手作業による分業体制を確立した
問13	江戸幕府の三代将軍徳川家光の時代に制度化された、大名が1年おきに領地と江戸を往復する「参勤交代」の主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 （2016年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 全国交通網を整備することで、大名による海外貿易を奨励するため	2. 大名の領地経営を幕府が直接代行し、全国の検地を円滑に進めるため	3. 大名に多額の旅費や滞在費を負担させることで経済力を削ぎ、幕府への反乱を防ぐため	4. 江戸の進んだ文化を全国に広め、地方の生活水準を向上させるため